

音読教室の様子

実際に図書館で開催した60歳以上の方を対象とした音読教室の様子をご紹介します。ここでは25名が参加された75分プログラムの例をご紹介します。

0. 用意するもの

- 参加者には、水分補給用の飲み物、筆記用具をお持ちいただきます。
- 会場は、顔の見えるコの字形式や、グループ形式が適しています。ホワイトボード（黒板）があると便利です。



1. スタート（5分）

- 挨拶「みなさん、こんにちは」
- 最初に、音読教室の説明です。 ⇒「みなさんで音読を楽しみましょう」
- 時間があれば、肩や首の筋肉をほぐす軽い体操も行います。

Point

- ・ ゆっくり読みましょう。
- ・ 自分のペースで、心地よさを味わえる無理のない範囲で。
- ・ 途中で水分補給やトイレの休憩をとりますので、ご安心ください。

2. テキスト1「ことわざ」(5分)

- テキスト（本）は、まとめて配布せずに作品ごとに順次配布します。
- なじみあることわざは導入部にぴったりです。簡単な解説も加え、意味も確認しながらゆっくり読みます。

Point

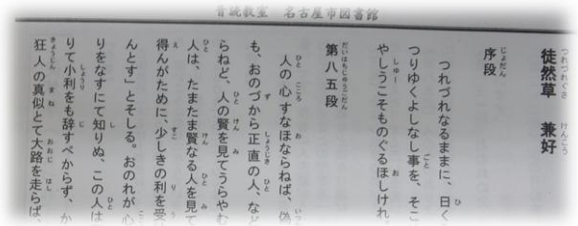
- ・ テキストを配布する時間も、気分転換になります。

3. テキスト2 「漢詩」(12分)

- 作品解説の後、全員で読みます。
- 2回程度読んで味わいを深めます。

Point

- ・解説があると理解が深まります。

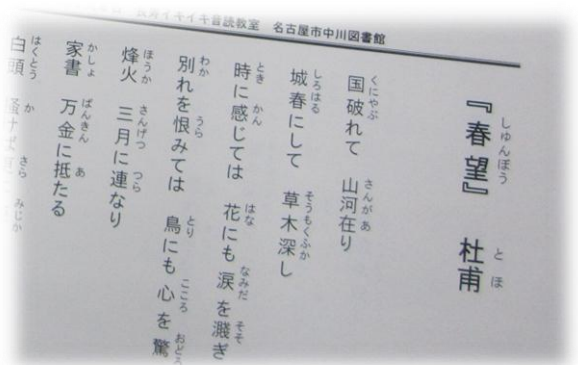


4. テキスト3 「日本の歌」(7分)

- 石川啄木の歌を楽しみます。

Point

- ・親しみやすい作品も効果的です。



5. 休憩 (7分)

- 水分補給やトイレの休憩でリラックスします。
- 参加者どうしの会話も楽しいひと時です。

6. テキスト4 「日本の古典」(15分)

- 作品解説や語句解説の後、全員で読みます。

Point

- ・一度に無理して読まずに、段落や文章のまとまりごとに、区切って読んでみましょう。

7. テキスト5 「地域の昔話」(8分)

○解説をしながら地域の昔話を 읽습니다。

Point

- ・身近なテーマは参加者の関心を高める効果があります。

8. テキスト6 「日本の童話」(11分)

○最後に、ちょっと長めの作品を味わいます。

Point

- ・はじめに全体像を簡単に解説すると、流れがつかみやすくなります。
- ・疲れた方には、無理せずに耳で聞いて楽しんでいただきましょう。

9. おわりに(5分)

○感想などの簡単なアンケートを書いていただきます。

○「みなさん、お疲れ様でした！」

